

新聞（原紙）

最新の新聞（朝日、毎日、読売、日経、産経、神戸）は、1階新聞コーナーにあります。

朝は朝刊、夕刊が届いたら夕刊に差し替えます。

英字新聞（The Japan Times, International New York Times, The Japan News）は、1階カウンターの横の新聞架にあります。

バックナンバーは、1階カウンターに利用を申し込んでください。



データベース

キーワードや日付から、新聞記事を検索できます。

朝日新聞『朝日新聞クロスサーチ』、

読売新聞『ヨミダス』、

日本経済新聞『日経テレコン』は、

図書館ホームページからアクセスできます。

全国紙と地方紙、業界紙などが

まとめて検索できる『日経テレコン（フルメニュー版）』は、

図書館2階ヘルプデスクで利用を申し込んでください。

海外の新聞はオンラインで利用できる『The Wall Street Journal』や

データベース型の『ABI/INFORM Collection』があります。

縮刷版



1か月分の新聞紙面を縮小印刷し、雑誌形式で発行されるもの（朝日、日経のみ）。過去2年分が2階雑誌コーナーに、更に古いものは、雑誌館にあります。（1階カウンターで利用受付）

【主要新聞の所蔵状況】

朝日新聞	新聞原紙（当日～2年前まで） 縮刷版（約2か月前～1940（昭和15）年） データベース『朝日新聞クロスサーチ』（当日～創刊号1879（明治12）年）
毎日新聞	新聞原紙（当日～2年前まで） データベース『日経テレコン（フルメニュー版）』（当日～1987（昭和62）年）
読売新聞	新聞原紙（当日～2年前まで） データベース『ヨミダス』（当日～創刊号1874（明治7）年）
日本経済新聞	新聞原紙（当日～2年前まで） 縮刷版（約2か月前～1961（昭和36）年） データベース『日経テレコン』（当日～1981（昭和56）年） データベース『日経テレコン（フルメニュー版）』（当日～1876（明治9）年）
産経新聞	新聞原紙（当日～2年前まで） データベース『日経テレコン（フルメニュー版）』（当日～1992（平成4）年）
神戸新聞	新聞原紙（当日～2年前まで） データベース『日経テレコン（フルメニュー版）』（当日～2000（平成12）年）
英字新聞 （The Japan Times 等）	新聞原紙（当日～2年前まで） データベース『ABI/INFORM Collection』（当日～1990年頃） 『The Wall Street Journal』等



■新聞の種類

新聞には、一般紙・経済紙・業界紙などの種類があります。

一般紙は、政治経済、海外事情、社会問題、スポーツなど、ニュースを総合的に掲載する新聞です。国内全域で販売される全国紙（朝日・毎日・読売など）や、エリアを限定し、地域に密着した情報を強化した地方紙（神戸新聞など）があります。

経済紙（日本経済新聞）はニュースだけでなく、経済やビジネスのデータも収集しています。これらの情報を専門的に分析した記事を掲載しているため、ビジネスに大きな影響力があります。

業界紙は各業界に関する情報に特化した新聞です。一般には流通していませんが、数多く発行されており、一部は2階ヘルプデスク専用端末で利用できます。その他にもスポーツ紙、地域コミュニティ新聞などがあります。

甲南大学図書館に所蔵していない新聞の記事を手したい場合は、2階ヘルプデスクにご相談ください。

■新聞は毎日読んだほうがよいか

できれば、毎日読んだほうがよいです。新聞は近日中の出来事を取り

ネットニュース

ネットニュースは信頼できる情報源でしょうか。新聞と比べて信頼度が劣る、という意見もあります。

一般的に新聞記事は、新聞記者が取材をして記事を執筆しますが、ネットニュースにはフリーライターが執筆する記事も多く含まれます。うわさだけを繋げたような質の悪い記事もありますが、アナリストによる意見やビジネス現場の体験談など、ネットニュースならではの貴重な情報もあります。もちろん、新聞記事も全てが公正で中立、というわけではありません。

新聞やネットニュースに限らず、私たちは様々なメディアが発信する情報を、「批判的に」読み解かなくてはなりません。「批判的に」とは、反対したり、バッシングしたりすることではなく、情報をどう受け取るかを見定めながら、自分の見解を考えることです。この手法は、「クリティカル・シンキング」と呼ばれ、現代社会で生きるために必要不可欠なスキルです。まずは最低限、①誰が執筆してどこが発行しているか、②いつ執筆された記事か、を確認する習慣を身につけてください。

SNS や多様な報道機関の記事を比べて読めるニュースサイトは大変便利です。ただし、スマホで利用し続けると、閲覧・検索履歴や位置情報、人気やスポンサーの影響など様々な要因で、自動的にニュースが偏って表示されるようになります。スマホの気遣いが不要なら、ときどき閲覧履歴を削除したり、GPS などの設定を見なおしましょう。新聞紙面やテレビニュースなど、別のメディアを使って、情報を多角的に捉えることも重要です。

英字新聞・NEWS

あなたが英文ニュースの初心者なら、まずは簡単に「英字新聞の読み方」を勉強しましょう。英文ニュースに使われる独特の言い回しのルールを知っておくと理解しやすくなります（もちろん、図書館にも学習用の本があります）。

辞書を片手に猛勉強もよいですが、少々単語が分からなくても、とにかくたくさん読むという方法もあります（多読学習法）。

図書館の英字新聞は、図書館1階カウンター横の新聞架に、オンラインでも『The Wall Street Journal』があり、皆さんのチャレンジをお待ちしています。

● Voice of America Learning English (<https://learningenglish.voanews.com>)



『Voice of America』は、アメリカの海外向け国営放送で、その中の「Learning English」では英語学習者向けに、易しい英語を使ったニュースを配信しています（子供向けではありません）。本家の VOA News も字幕や重要単語リストがあって心強いです。

また、イギリスでも公共放送局 BBC が、『BBC Learning English』で易しい英語ニュースを配信しています。

新聞記事データベースの使い方

1. 図書館 HP > データベース > 新聞・新聞記事データベース



2. データベース画面



3. 記事詳細



同時アクセス数に制限があります

新聞記事データベースなど、学内限定のデータベースは、学内で同時に利用できるアクセス数に上限があります。ログインできないときは、少し待ってから再度アクセスしてください。使い終わったら、ログアウトにご協力をお願いします。

扱ったため、重要な事件は一日分では断片しか載っていません。また、毎日読むことで、自然と時流を掴めるようになります。

毎日全ての記事を読破するのは大変ですが、新聞には「ななめ読み」ができる工夫があります。

まず、見出しの大きさやデザインで、記事の重要性を伝えます。記事冒頭には、「リード」という短文が置かれます。リードには、記事の内容を簡潔に伝えることと、あらかじめポイントを押んでから本文を読ませることで、読者の理解を深めるといった2つの役割があります。つまり、リードを読んでより詳しく知りたいと思った記事だけ本文を読むと、時間がかかりません。新聞紙面が大きいことも、たくさんさんのニュースを短い時間で伝える知恵なのです。

図書館の新聞コーナーは、各紙の最新版を広げて、かつ並べて読むことができるようになっています。